

# 岩手県感染症週報

平成17年第43週（10月24日～10月30日）

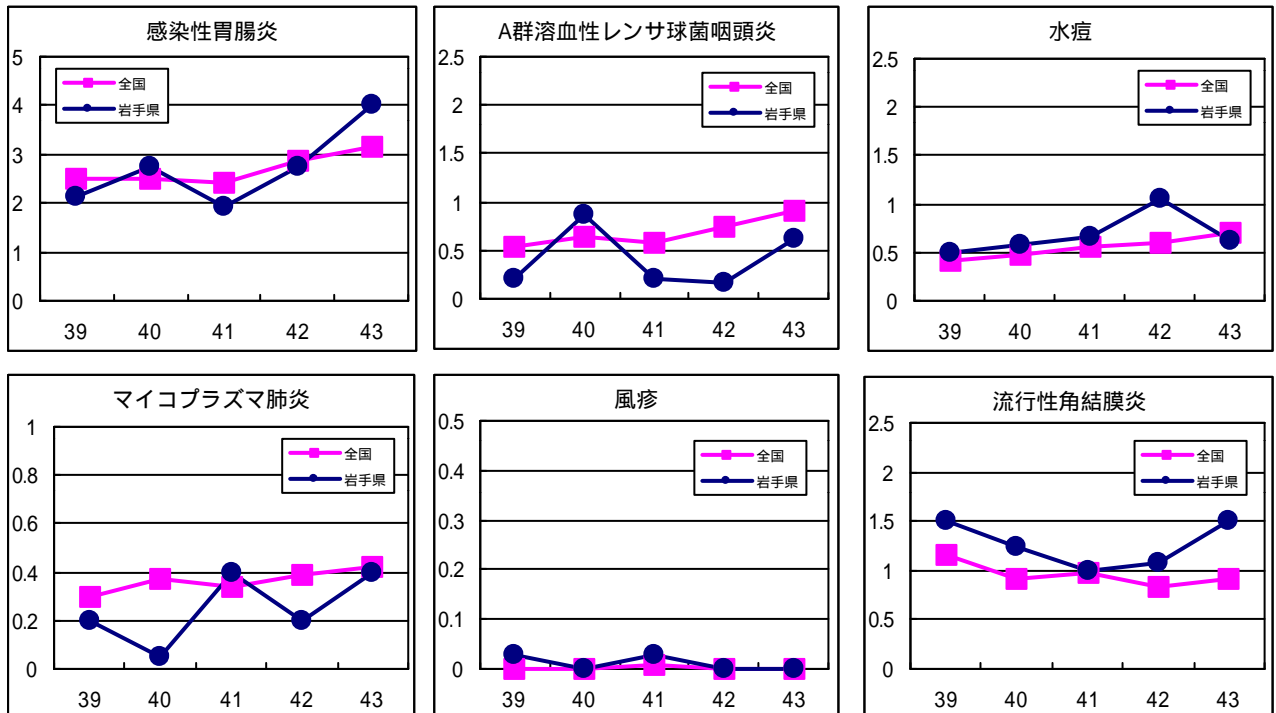
岩手県結核 感染症情報センター

## 第43週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症
  - ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
  - ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
  - ・感染性胃腸炎は、盛岡地区で引き続き患者が増加しています。この週に報告があった患者数152例のうち同地区からの報告は109例で、定点あたり患者数が9.1人になりました。盛岡地区では、昨年の同期（同患者数1.6人）と比べても約6倍の報告数となっています。この疾患は、例年11月中旬頃から報告数が増加し始め、年末年始の頃にピークを迎えますが、盛岡地区では、例年よりも早く流行が始まっているようです。感染予防には、十分な手洗いや汚物処理時の消毒などが重要です。特に、保育所や小学校、老人保健施設などでは集団発生が起こりやすいので、注意が必要です。
  - ・水痘は、この週には県全体での患者報告数は減少しましたが、花巻地区で患者が増加しています。前週に報告が多かった盛岡、水沢地区では、患者が減少しました。
  - ・A群溶レン菌咽頭炎は、盛岡、花巻地区で増加しました。
  - ・流行性角結膜炎が、一関地区で増加しました。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		39	40	41	42	43		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.22	0.19	0.17	0.16	0.18		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.21	0.87	0.21	0.16	0.63	↗	
	全国	0.54	0.65	0.58	0.74	0.9		
感染性胃腸炎	岩手県	2.13	2.74	1.92	2.76	4	↗	
	全国	2.51	2.5	2.42	2.86	3.14		
水痘	岩手県	0.5	0.58	0.66	1.05	0.63	↘	
	全国	0.42	0.47	0.55	0.6	0.7		
手足口病	岩手県	0.34	0.61	0.45	0.39	0.21	↘	
	全国	0.47	0.4	0.4	0.37	0.4		
伝染性紅斑	岩手県	0.03	0.11	0.08	0.11	0.11	→	
	全国	0.13	0.13	0.11	0.13	0.13		
突発性発疹	岩手県	0.39	0.5	0.18	0.26	0.26	→	
	全国	0.72	0.73	0.66	0.66	0.65		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0.03	0	0.03	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.39	0.5	0.58	0.32	0.45	→	
	全国	0.44	0.31	0.27	0.24	0.18		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.42	0.45	0.5	0.53	0.39	→	
	全国	1.22	1.1	1.05	1.24	1.15		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1.5	1.25	1	1.08	1.5	→	
	全国	1.15	0.92	0.98	0.84	0.92		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	171	224	195				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.03	0.02	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0.05	0.4	0.2	0.4	→	
	全国	0.3	0.37	0.34	0.39	0.42		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.02	0.01	0.02	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 39	40	41	42	43	累計	43	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	2	47	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	5	497	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	45	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	3	16	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	83	58	3179	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	4	578	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	14	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	1	1	29	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	3	2	237	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	8	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	3	0	130	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	48	
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	4	13	968	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	62	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	10	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	1	0	0	1	0	6	3	116	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	61	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	54	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	1	2	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	3	3	433	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	85	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	58	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	4	60	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	7	
	レジオネラ症	0	0	0	1	0	1	10	219	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。  
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

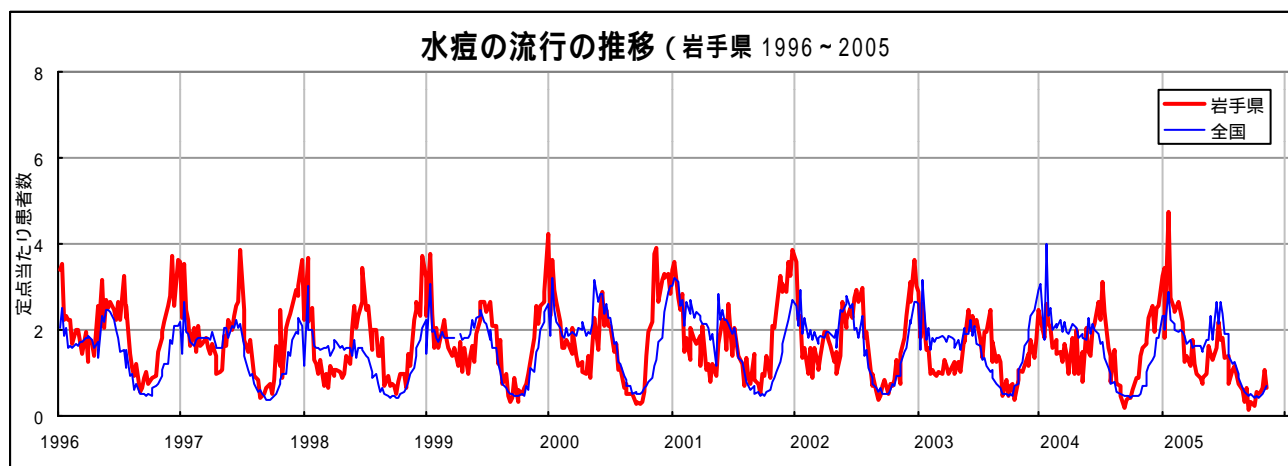
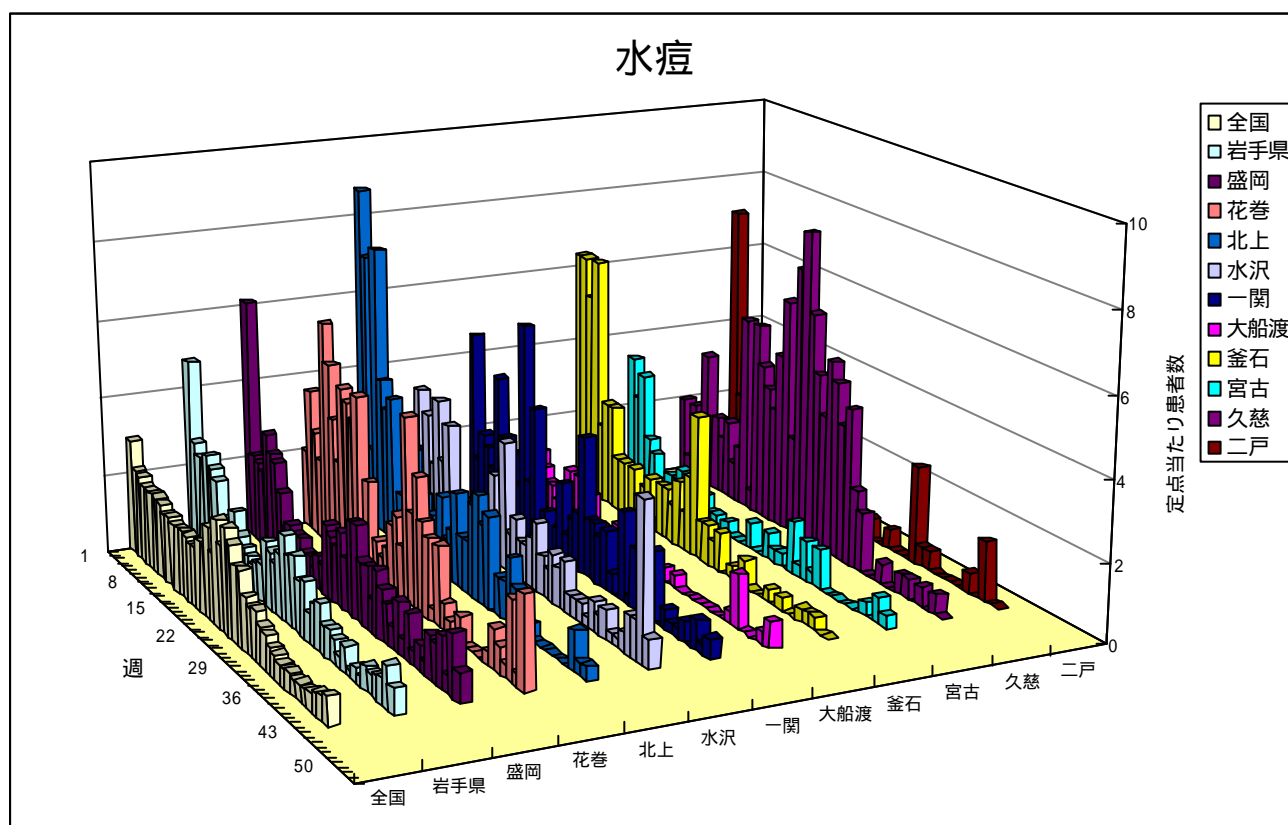
今注目の感染症

水痘

水痘は、本県では、毎年6月中旬と12月下旬の年2回の流行のピークがみられ、これから年末のピークに向けて患者数が増加する時期にはいる。

病原体の感染力は、麻疹よりは弱いが流行性耳下腺炎や風しんよりは強いとされ、家庭内接触での発症率は約90%と報告されている。潜伏期は2週間程度（10～21日）で、成人では発疹出現前に1～2日の発熱と全身倦怠感を伴うことがあるが、子供では通常発疹が初発症状である。臨床経過は一般に軽症だが、成人では重症化しやすく合併症の頻度も高い。合併症として、皮膚の二次性細菌感染、脱水、肺炎、中枢神経合併症などがある。

感染の予防には、患者との接触をさけることが重要であるが、ワクチンも有効である。日本では任意接種の扱いであるが、1回の接種での抗体獲得率は約92%である。



## 病原体検出情報

- ・ 感染性胃腸炎の患者の糞便からノロウイルス遺伝子型 を6例検出しました。
- ・ 急性肺炎の患者の咽頭拭い液から単純ヘルペスウイルス1型を1例分離検出しました。

## 医療機関からの情報

- 盛岡地区の医療機関（小児科）から
- ・ 保育園での感染性胃腸炎が目立ってきている。小学校は少ない。
  - ・ 今週も盛岡地区は下痢、嘔吐の患者が多数来院した。

## 集団感染情報

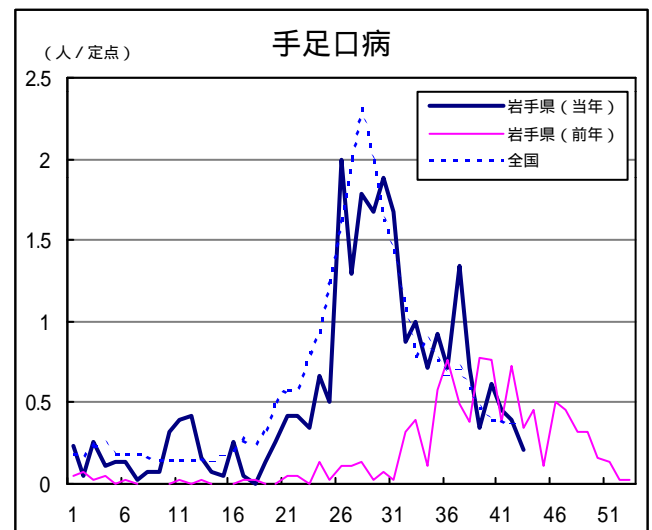
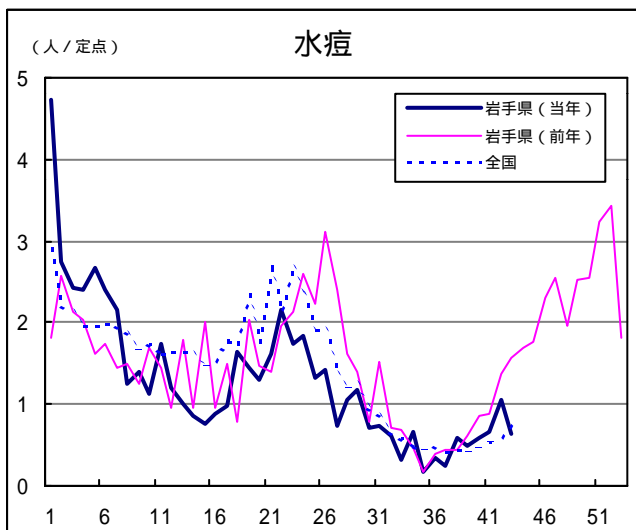
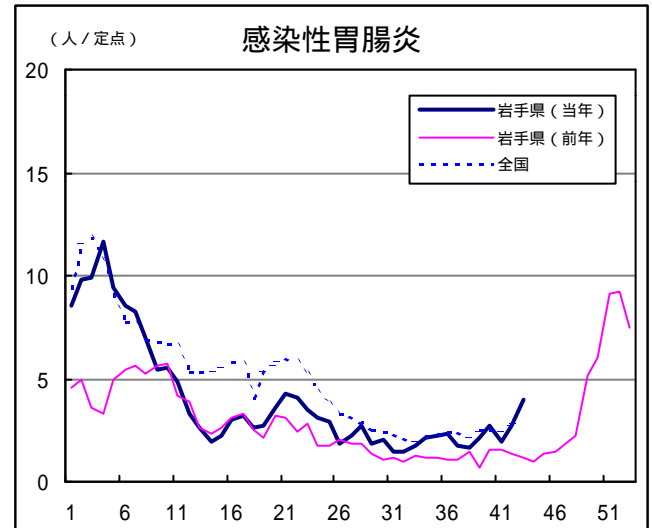
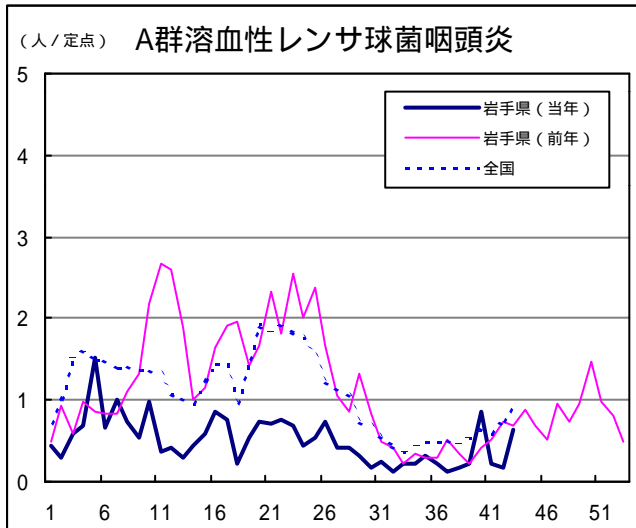
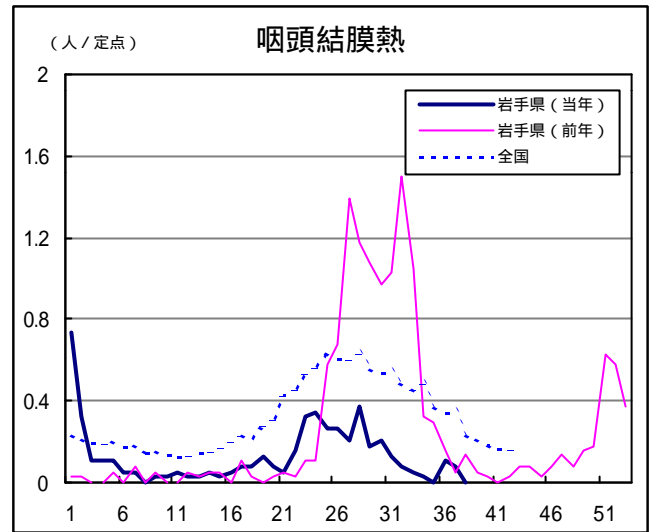
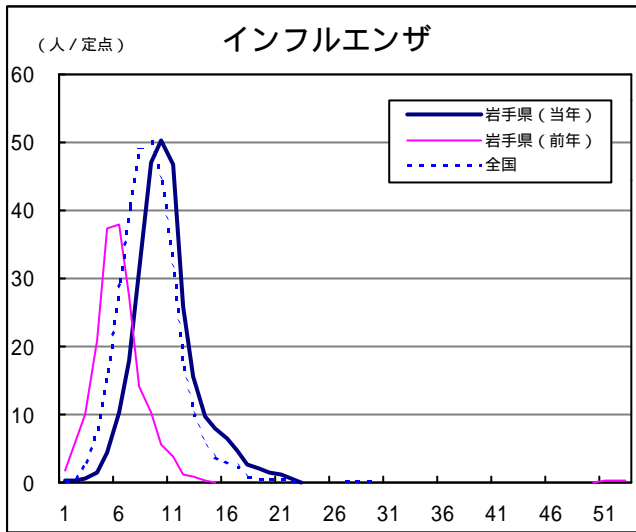
- ・ この週には集団感染情報はありません。

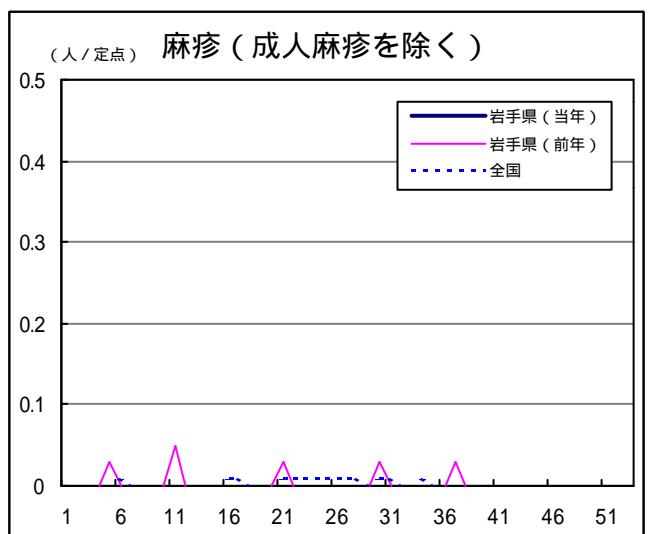
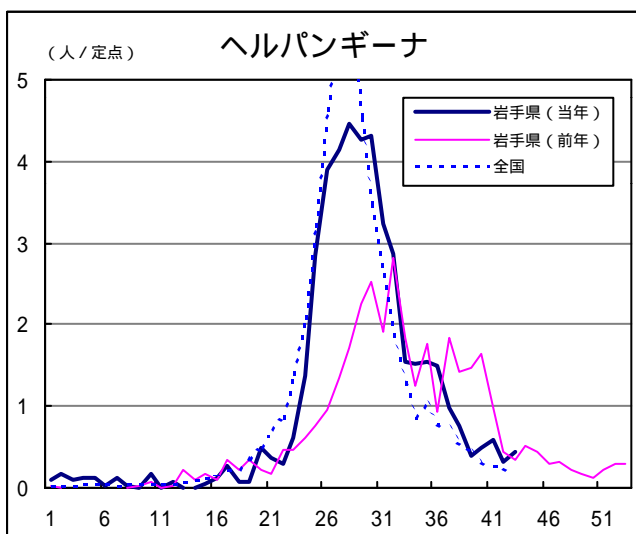
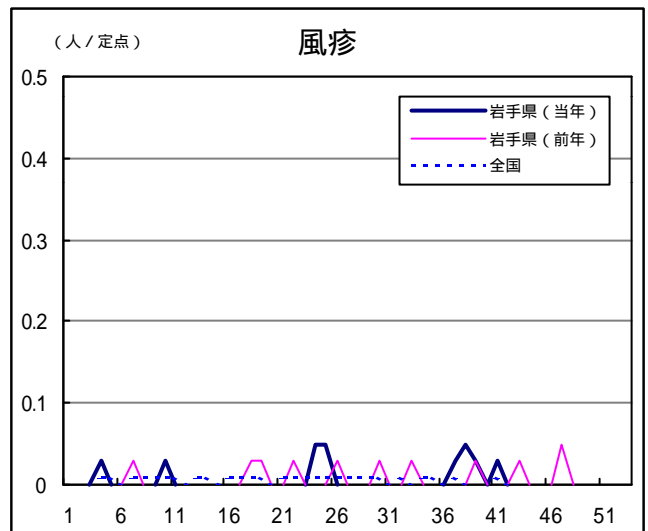
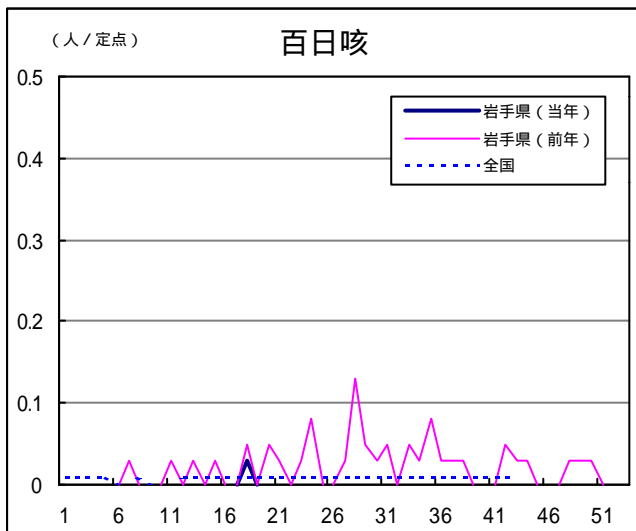
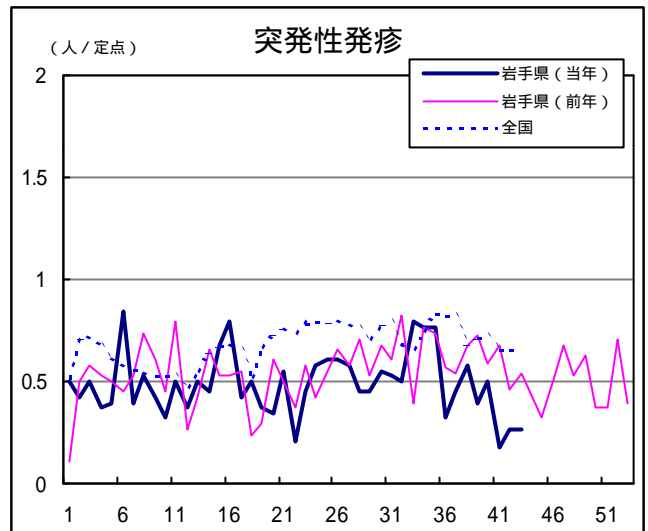
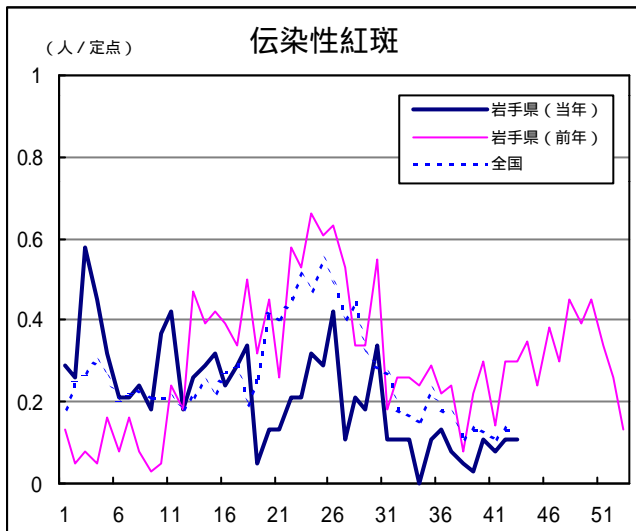
## Q & A

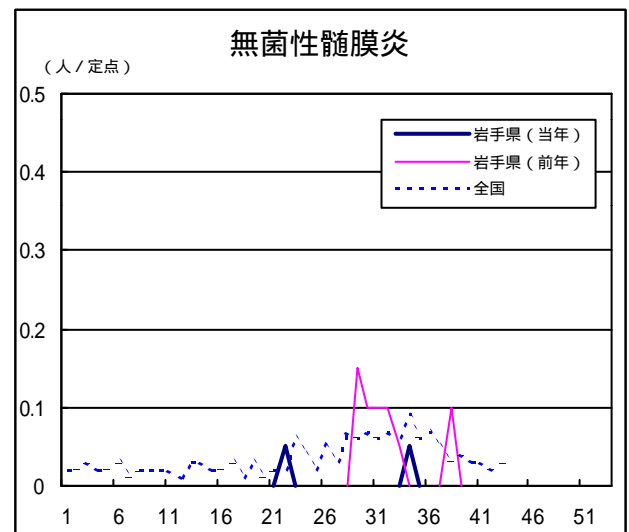
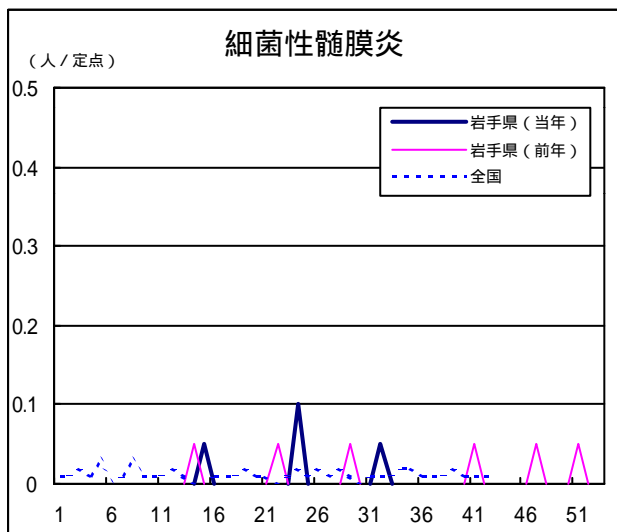
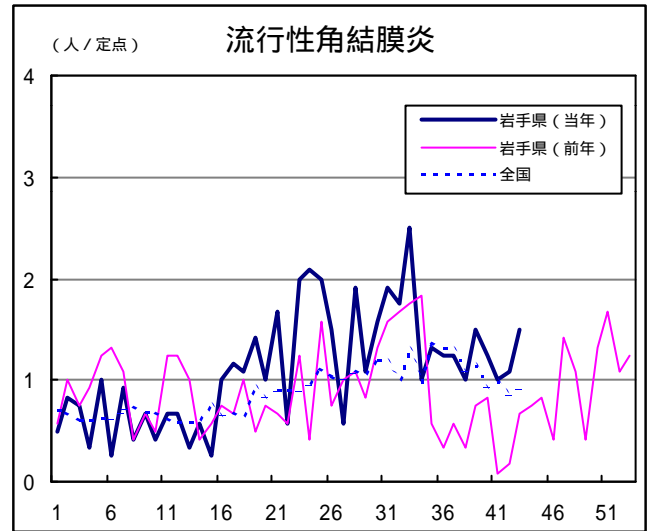
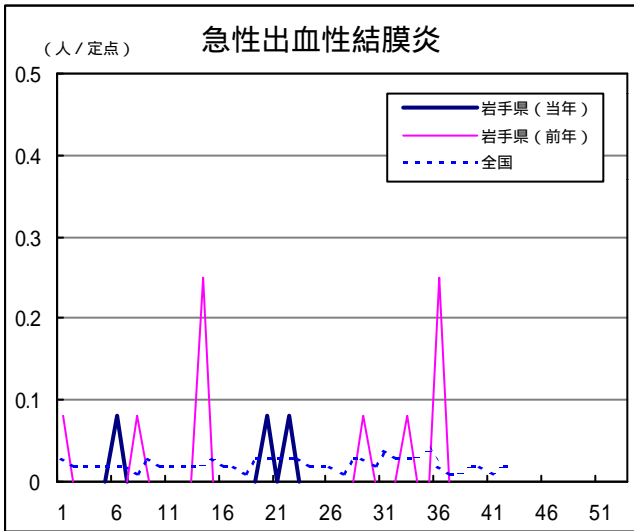
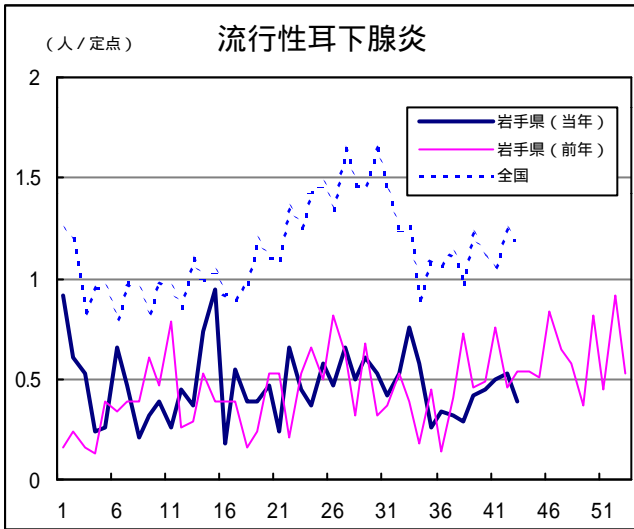
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

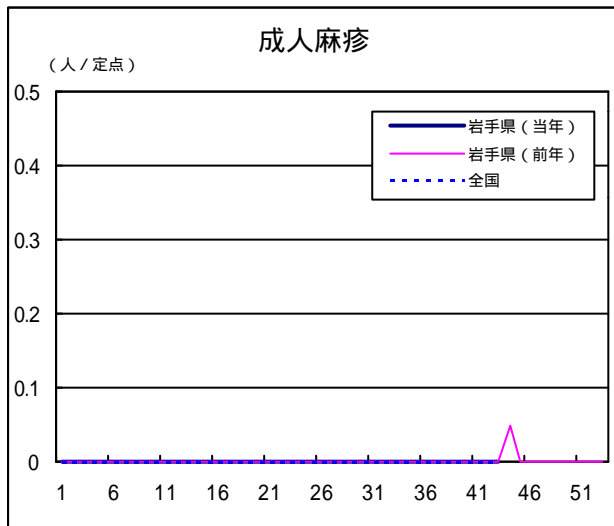
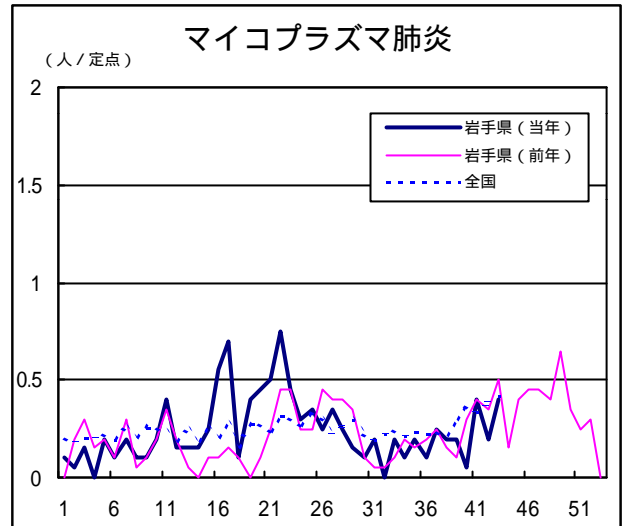
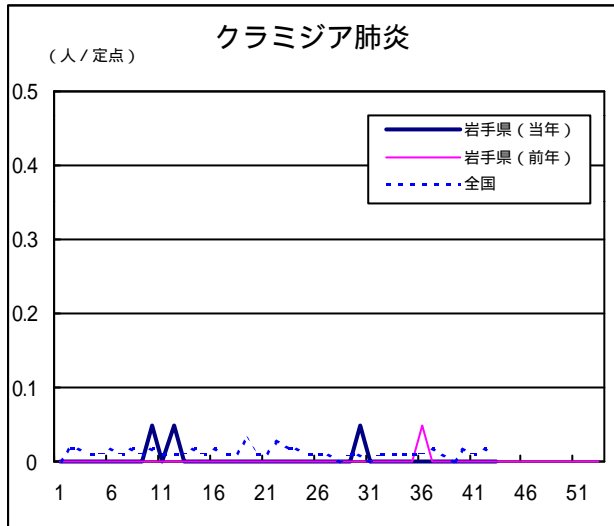
疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）











定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第43週 平成17年11月4日発行  
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター  
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp  
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県結核・感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>